

長期社会体験研修「校内研修計画」

令和6年10月29日（火）放課後（15:00～16:00）教職員
研修担当者 飯島 美貴

1 研修プラン

キャリア教育の視点から学校力を高めるワークショップ
～「群馬ヤクルト」の価値普及を手掛かりに学校の価値を考える～

2 研修のポイント

- ・「キャリア教育の指導目標」が教育活動全体につながっていることに気付きを与える。
- ・「キャリア教育の指導目標」を軸としたラフプラン作りを通して、学校が目指すべきビジョンの共有を図る。
- ・ラフプラン作成のために対話の時間が生まれることで、教員同士の意見交流の場となり、教職員同士の関係づくりと組織の活性化を図る。
- ・教職員が「キャリア教育の指導目標」のロールモデルとなり、教科指導や生徒指導などを通し、キャリア教育の効果的な実践につながり、児童の基礎的・汎用的能力を伸ばすことを図る。
- ・キャリア教育の推進により、学校力向上を図る。

3 研修の主な活動

- ・群馬ヤクルト販売株式会社（以下、群馬ヤクルト）が大切にしている価値観を知る。
- ・学校の価値とは何かを考える。
- ・「キャリア教育の指導目標」を軸としたラフプランを作成する。

4 研究（企業）との関わり

○企業

- ・群馬ヤクルトが大切にしている価値観
「利他の心」「お客さま本位」「価値普及」「生産性の向上」「革新の精神」
- ・本田会長の講話より
「学校におけるあらゆる教育活動は、キャリア教育である」
「学校と社会はつながっている」
「ビジョンの共通認識により、求心力・駆動力となる。」
- ・本年の主スローガン
基本を大切に！～すべてはお客さまのため～

○学校

- ・高崎市の学校教育スローガン「すべては子どもたちのために」
- ・金古小校内研修主題
「わかる楽しさ」を知り、主体的に学ぶ子どもの育成
～基礎・基本の定着に着目した授業づくりを通して～

5 研修の進め方

活動内容	時間	留意点
<ul style="list-style-type: none">○研修の流れ、目的を知る。○群馬ヤクルトが大切にしている価値観を知る。1 学校として当てはめた場合、「お客さま」はどのような言葉になるのか考える。○一つの言葉でも、多様な考え方（価値	5分	<ul style="list-style-type: none">○5つの価値観を紹介し、「価値普及」について取り上げることを伝える。「お客さまが求める価値を知り、私たちが提供できる価値（商品・人・会社）を一人でも多くのお客さまに必要とされる価値に高めます。」○近くの2～3人ペアで意見交換をする。

観)があることに気付く。 2 学校として当てはめた場合、「商品・人・会社」にはどのような言葉になるのか考える。		○近くの2～3人ペアで意見交換をする。 ○数名を指名し、意見の発表を促す。
3 学校の価値とは何かを考える。 ○子供たちは、何のために学校に来ているのか(子供たちは、何を学校で学んでいるのか)。 T1:友達との関わりを学ぶため T2:学力を付けるため T3:心身ともに成長するため ○個人で付箋に書き出す作業を行う(5分間) T1:休み時間の外遊び T2:算数の計算練習 T3:運動会のダンス	15分	○グループ編成を低学年、中学年、高学年(専科は中学年、高学年に入る)の3グループに分ける。 ○近くの2～3人ペアで意見交換をする。 ○挙手や指名をし、意見の発表を促す。 ○発表内容を板書する。 ○他のグループでの考え方を見に行ってもよいことを伝える。 ○具体的にどのような教育活動があるのかを付箋に書き出していくよう伝える。 ○個人で書き出したものをグループ内で紹介し合い、A3用紙に貼り、似た内容があればまとめておくよう伝える(KJ法)。 ○低学年グループから順番にどんな意見が出たのか発表を促す。 ○各グループのシートを黒板に掲示しておく。
4 今後の教育活動で、キャリア教育を意識したラフプランを作成する。 【キャリア教育の指導目標】 ①自分や友達のよさに気付き、得意分野を伸ばし学び合い助け合おうとする態度を育てる。 ②将来への夢や希望をふくらませながら、学ぶことや働くことの意義を理解させる。 ③自分の考えをもち、目標に向かって努力する態度や意欲を育てる。 以上の中から、特に伸ばしたい力を選ぶ。	25分	○「3」で価値付けた教育活動が、キャリア教育指導目標と関連付けられるよう、ワークシートに書き込んでいくことを例を示しながら伝える。 ○1～6年、特別支援、専科の8グループに分ける。 ○例となるラフプランを示す。 ○キャリア教育全体計画「学年ブロックの重点目標」「教科・領域における指導内容」を示す。 ○学校教育目標、目指す児童像との関連も伝える。 ○黒板のシートや他のグループの様子を見に行ってもよいことを伝える。 ○作成は15分間で行うことを伝える。 ○ラフプランができたら図式化もするよう伝える。 ○数グループに発表を促す。(スクリーンにラフプランを投影する。)
5 学校教育活動全てがキャリア教育であることを知る。	10分	○本田会長の講話の内容も引用しながら、何か特別なことをするのではなく、これまでの教育活動全てがキャリア教育であることを伝える。 ○ヤクルトでの業務の中で、学校と社会とのつながりを感じたことを織り交ぜて伝える。 ○ヤクルトでの価値普及活動の様子を伝えることで、学校の価値を高めていくことの必要性に気付かせる。 ○教頭先生より、組織マネジメントの観点からお話をいただく。
6 振り返り	5分	○研修の感想、意見、気付きを記入する。 ○数名に発表を促す。

6 準備

- ・パソコン・プロジェクト・スクリーン・ワークシート・付箋・提示資料